

対象国の条件:大量生産をはじめた国

研修コース番号:201984844-J002

案件番号:201984844

主分野課題:民間セクター開発/その他民間セクター開発

副分野課題:

使用言語:英語

案件概要

途上国における製造業の生産性を向上させるために、製造現場で実施される日本の品質管理・生産性向上の普及を担う人材の育成を目的とする。生産性向上を実現するためには固有の製造技術だけでなく、個々の技術を効果的に結び付け総合的な生産体制を整備することが重要である。その体制づくりに係る指導者を育成するため、製造業を指導する行政官及び製造業業界団体役員等を対象に生産技術と保全技術の全般を学ぶ内容とする

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】
参加者の所属組織において、企業の生産性を高めるための体制づくりや人材育成を強化する戦略的な計画が提案される

【成果】
1. 日本的な品質管理・生産性向上の方策を理解することによって、自国の課題を整理し、自組織が果たすべき役割を認識することができる
2. 日本的な安定稼働や設備保全の方策を理解することによって、自国の課題を整理し、自組織が果たすべき役割を認識することができる
3. 生産性向上のための仕組みや人材育成の戦略的な計画を立案する能力が身につけられる

【対象組織】
各国から官民1名ずつ2名の参加を推奨。以下1.2に相当する組織を対象と想定する
1. 製造業振興に取り組む中央及び地方政府又は公共団体に所属するもの
2. 製造業の民間企業連盟や商工会議所の役員

【対象人材】
・製造業界振興を担当する行政官
・製造業界団体及び民間企業の普及指導者
・上記分野にかかる業務経験を5年以上有する者
・原則として30歳-50歳の者

内容

1. 品質管理・生産性を高めるための講義・演習・実習・見学
(1) ものづくりの基本的考え方 (2) ロスの排除による生産性向上方法 (3) 不良品を作らない品質管理の進め方 (4) 生産現場を改善し活性化する手法 (5) 生産現場の弱点の見つけ方

2. 設備の安定稼働を達成するための講義・実習・見学
(1) 設備保全の基本 (2) 予防保全に必要な技術・技能 (3) 設備改善による故障防止事例の演習 (4) 設備診断技術の基礎 (5) 機械・電気技能訓練システムの紹介

3. アクションプランの作成/発表
(1) 研修員各自の課題認識指導 (2) 報告書作成指導 (3) ジョブレポート/アクションプラン発表会

本邦研修期間	2019/8~2019/10
担当課題部	産業開発・公共政策部
所管国内機関	JICA九州
関係省庁	
実施年度	2019~2021

主要協力機関 調整中

特記事項
及び
ホームページ